

貯 法：室温保存  
使用期限：3年（直接の容器及び外箱に表示  
の使用期限内に使用すること）

日本標準商品分類番号  
8 7 2 3 1 8

胃内有泡性粘液除去剤

# バロス消泡内用液2%

## BAROS Antifoaming Oral Solution 2%

ジメチコン内用液

承認番号	22000AMX00531000
薬価基準収載	2008年6月
販売開始	1972年3月
再評価結果	1982年1月

### ※※【組成・性状】

成分・含量 (1mL中)	ジメチルポリシロキサン 20mg
添加物	カルメロースナトリウム、キサンタンガム、モノラウリン酸ソルビタン、含水二酸化ケイ素、D-ソルビトール液、サッカリンナトリウム水和物、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸プロピル、プロピレングリコール、香料
性状	乳白色の不透明な液体で、レモン臭を有する。

### 【効能・効果】

胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善  
胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去  
腹部X線検査時における腸内ガスの駆除

### 【用法・用量】

胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善に使用する場合  
ジメチルポリシロキサンとして、通常成人1日120～240mg（本剤6～12mL）を食後又は食間の3回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去に使用する場合

検査15～40分前にジメチルポリシロキサンとして、通常成人40～80mg（本剤2～4mL）を約10mLの水とともに経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

腹部X線検査時における腸内ガスの駆除に使用する場合  
検査3～4日前よりジメチルポリシロキサンとして、通常成人1日120～240mg（本剤6～12mL）を食後又は食間の3回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

#### ※※1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻 度 不 明
消化器	軟便、胃部不快感、下痢、腹痛、嘔吐、嘔気、食欲不振、胃部重圧感
その他	頭痛

#### ※※2. 適用上の注意

投与時：振とう後使用すること。

### 【薬効薬理】<sup>1),2)</sup>

本剤の主成分であるジメチルポリシロキサンは、その表面活性作用によりガス気泡の表面張力を低下させて破泡させる性質を有する。

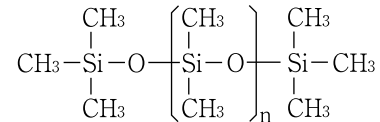
本剤を経口投与することにより胃腸内に存在する有泡性の微小気泡はこわれていくつかの大きなガス体に遊離合体し、体外に排泄されやすくなる。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ジメチコン（Dimethicone）

化学名：Dimethylpolysiloxane

構造式：



性状：ジメチルポリシロキサンは無色澄明の液で、におい及び味はない。ジエチルエーテル又は四塩化炭素に極めて溶けやすく、水にほとんど溶けない。

### ※※【取扱い上の注意】

#### 〈安定性試験〉

最終包装製品を用いた加速試験（40℃、相対湿度75%、6カ月）の結果、バロス消泡内用液2%は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。<sup>3)</sup>

### 【包 装】

300mL（ポリ瓶）

### ※※【主要文献】

- 1) 戸田尚武他：さくらXレイ写真研究, 23(2), 1972.
- 2) 佐々木泰斗：信越シリコンレビュー, 8, 203, 1959.
- 3) 堀井薬品工業(株)：社内資料（安定性試験）

### ※※【文献請求先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

堀井薬品工業株式会社 安全性情報部

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06(6942)3487

FAX 06(6942)1505

製造販売元



## 堀井薬品工業株式会社

大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号